

とりやまこども園 自己評価結果

令和4年度



理念・方針に沿った教育・保育が 実現していたと思いますか？

平均 7.9 点

(10点満中、回答数53)

とりやまこども園では、「すべては子どもたちの笑顔のために」という理念のもと、教育・保育を行っています。ここ数年の社会情勢に左右された部分がありますが、そうした中でも子どもたちの思い、発想を生かした保育を進めてきました。コンセプトとして、「子どもの声を聞く」「前例にとらわれない」などを挙げて、取り組んできました。これらを具体的に活動に取り入れた結果、保育者の自己評価が上記の点数になったと考えています。



目標を達成するような教育・保育が 実現できていましたか？

平均 8.0 点

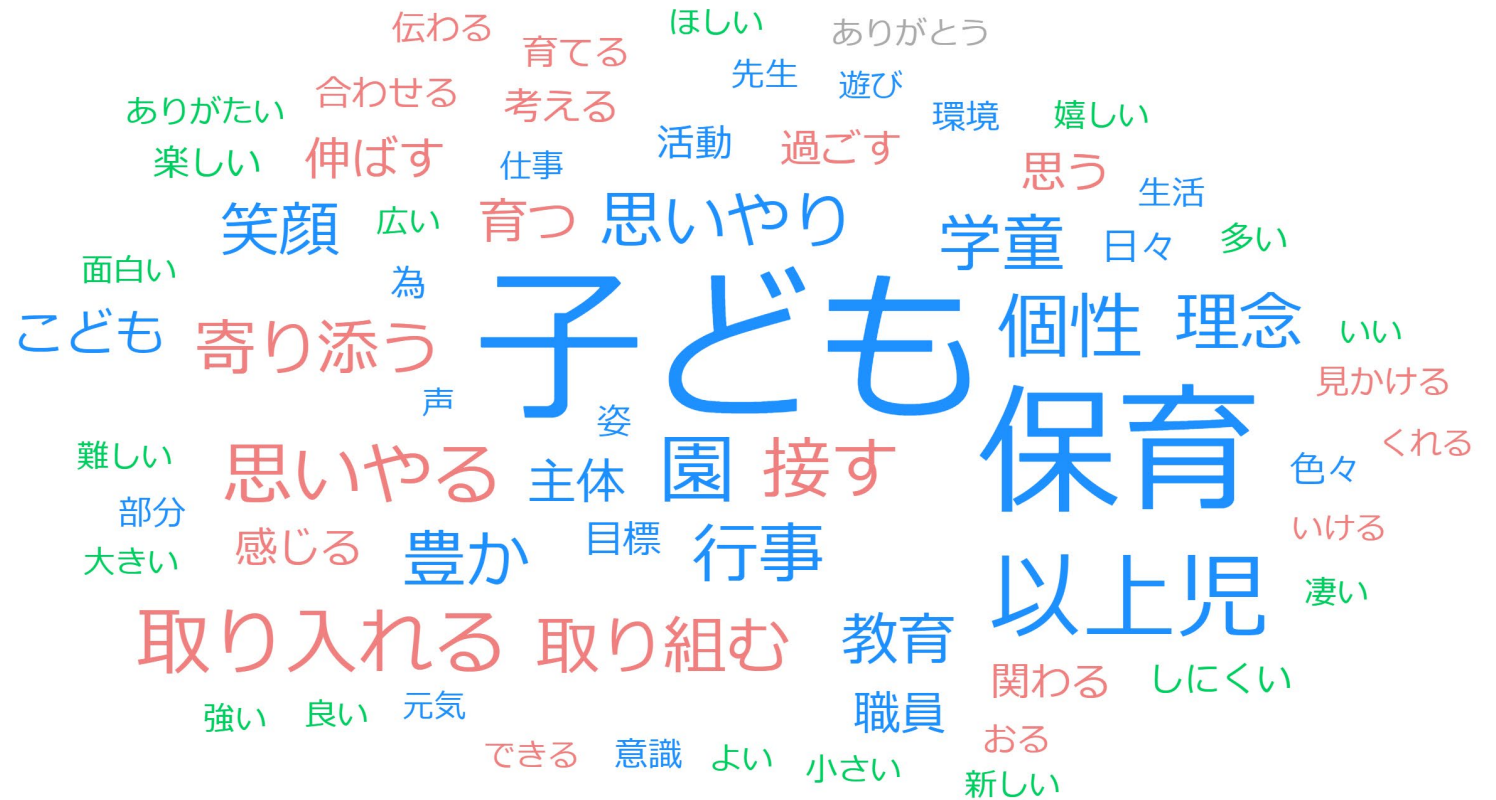
(10点満中、回答数53)

- 心身ともに健やかな子どもを育てる
- 個性豊かな子どもを育てる
- 思いやりの心を育てる

とりやまこども園の保育目標は、この3つです。体全身を使って遊べる園庭の整備、様々な素材や遊びに打ち込める環境作りに取り組んでいます。また、子どもたち一人ひとりが思い思いの活動に取り組める「わくわく保育」や子どもたちが主となって企画する運動会などの活動を通して、それぞれの個性を活かす工夫を実践しています。それらの活動の中で、子どもたち同士の対話、保育者との対話を大切にして、互いの思いや考えに触れ、思いやる体験を実践しています。

2つの自己評価の理由

自由記述での評価理由を、ワードクラウドで表したものです。文字通り、子どもが中心にきていて、その周りを先生たちの思いが確認できます。色々な思いと考えをもって、保育に携わった1年だったと読み取ることができます。



自由記述

- 子どもの描いた絵を廊下やホールに飾ったり、運動会など子どもが「したい」と思う活動を取り入れたりするなど、子ども主体の保育ができてきていると思うから。
- 保育理念の子どもの笑顔、保育目標などは意識をしながら子どもと接する様にした。
- マイナスの部分は、個々をよく見るとの数字。
- 今年などはリーダーをはじめとして園全体がそれらに向かい取り組んでいる様子が見られ私達にも伝わっているように思います。
- 今年度は特に今まで以上に子どもたちの気持ちを尊重していろいろなことに取り組むことが出来たと思います。子どもたちも楽しんでいました。
- 今現在自分達にできることを考え、工夫をしてできていると思う。しかし、行事や日々の生活の中でまだまだ生活のしにくさを感じている子がいるのではと思う。これからもそのときの最善を目指して考え改善していけるとよいと思う。
- それぞれの職員の特色が活かされ保育の環境の一部となったり、子ども達のやりたいことを思い切りできる環境を提供できつつあるので、個性豊かな部分では色々な経験は勿論、豊かさが育っていると感じた。縦割り保育は勿論、園内の活動を通して異年齢での関わりが見られたり相手を思いやる気持ちが大い子から小さい子へと伝わっていた。
- 全ての子どものやりたい、考えていることを取り入れることは難しい場面がある為
- 子どもが楽しく園生活を過ごしているように感じた為
- 個性を大事にして関わっている
- 職員のチームワークが良い。

自由記述

- 個々の保育に関する意識が変わり始めている為、こどもに対しての対応が寄り添う保育になってきている為
- 以前より子ども自身が考え、行動や遊びを展開させるようになってきたと思う。個性豊かな子どもが増えたように感じる。
- 自分の子どもが通う園では子どもたちが伸び伸びと過ごしており、笑顔が多く子どもだけでなく職員も楽しみながら活動する姿が見られる。
- とりやまでも様々な活動を通して子どもの個性を伸ばしたり活動を通して思いやる心が育っていると思う。
- 色々と改善するところや配慮する事があると思った。
- 思いやりの心を育てる...のところをもう少し子ども達とかがえていけたらいいかなと思った
- のびのびと個性豊かな子が多く、伸ばしていけたらと考え保育に取り入れているから。
- 保育士一人ひとりが、子ども達と丁寧に接していて、思いやりと責任感をもって仕事をしているので。
- 全体会議や研修などで、意見を出し合い、常に子どもにとってないが良いのかを考えている。
- 新しい取り組みに挑戦している。
- ワクワク保育など、子どもたちがやりたい物を積極的に取り入れている。
- 子どもたちがやる気になる声掛けや対話がとてもできていると感じている。
- 季節や年齢ごとの行事では子どもの笑顔が多く見られているから。
- また個性溢れる子どもが多く一人一人の魅力が行事などを通して現れていると思うから。
- 子どもたちの興味や関心に合わせて保育内容を考えららていたと思います。

自由記述

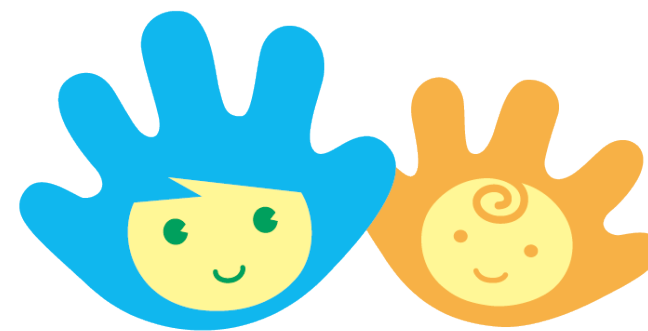
- 子ども達の口調が強いを感じる。相手を考えて、別の言い方を教えてあげたい。
- 以上児はここ数年で子ども主体の流れでかわってきたと思うが未満児はなかなか変わっていったと思う。
- 現場ではたくさん意見があるものの、実際は現場の声が届かない事を感じた。
- 人数の多さや環境をあげてしまうのは違うのかもしれないが、その為に工夫してもしきれない部分があるかもしれないから。
- 縦割り保育をする中で、思いやりを持ったり様々な運動体験をしている事。一人一人を尊重し関わることで良い所を伸ばし個性豊かに育てていると思う。
- 学童の場合、行動力の凄い子どもたちに合わせた寄り添いかたが先生によっても違ってくこともあり、でも足並み揃えないと行けないこともあり園からの先生が入ってくれたことで来年度が楽しみです。こどもたちの楽しい日々の為に頑張りたいとおもいます。
- 行事など、こども達がいかにやりとげ、達成感を持って頑張っているかが、わかるからです。
- 冬は片品への雪遊び、春や秋は呑龍様遠足などの園外保育。大きな畑で色々な野菜作りでの食育。広い園庭には大きな桜の木や花壇いっぱいの花、子どもたちの情緒教育になっている事と感じています。大型玩具や芝山でおもいきり遊ぶ子ども達の楽しそうな笑顔こそが一番の目標だと思います。
- 私は仕事をする時は笑顔で楽しくいたいと思っており、学童の子どもたちにも同じようになってほしいと心掛けて働いております。子どもが笑顔でなければ何故とよく考え、子どもが笑顔であれば、私も嬉しく思います。
- 教育目標の3点においても笑顔は不可欠だと思っております。
- これからも笑顔を常に意識して働いてゆきたいと思っております。
- 日々色々な事があったと思いますが、子ども達が笑顔で元気な声が聞こえていたので。
- 保育には携わっていませんが、たまに廊下を歩いていると、とにかく子どもたちが元気だし、しっかりありがとうも言える、物怖じしないし、自分で考えで動き、助け合ってる姿も見かけます。良い意味で型にはまらないキラキラした子どもらしさを感じて、こちらも笑顔になれます。

自由記述

- 直接いつも子どもたちと接しているわけではないが、子どもが元気でたくさんお話をしてくれるので生き生きしている姿が見られとてもいいと思う。又、発達障害児を1人の個性と受け止め、差別することなく、積極的に受け入れる保育園が最近減りつつあるとも聞くので、ありがたい園だなんて思う。
- 子どもたちが自分でやってみたいという姿が見られた。楽しそうに「いついつ した」と話してくれていたから。
- 子どもの発想や遊びが面白く、それを見守る先生方も楽しそう。でも追われる仕事が多いだろうなと思う。特に以上児クラス。
- 園長先生と先生方が、子どもを中心とした保育を日々考え、計画し実践している。
- 子どもたちが楽しそうに園生活を過ごしている。
- 子どもたちひとりひとりの個性に合わせて接していると思います。
- 先生方が、一生懸命関わっている姿を見かけます。
- 先生同士も、よく相談されて、コミュニケーションがとれていると思います。
- 子ども達が思い切り遊び、行事も楽しそうで、いきいきと笑顔で過ごしているからです。
- 集団の中で面倒を見ているため、個々人の個性を育てる教育にまで手が回らないことがある

お読みいただき、ありがとうございました。

これからもより良い保育を目指して、研鑽を積みしたいと思います。



TORIYAMA

この自己評価は、社会福祉法人 鳥山会 とりやまこども園ならびにとりやまこども園学童クラブの職員による自己評価です。

公開情報ですが、無断で転載・研究等に利用することを禁じます。